

ラボ・ニュースレター

2013年1月

Vol. 1、第3号

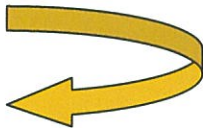


右側は、本センター。後方左側は、附属病院けやき棟

つくば臨床検査教育・研究センター

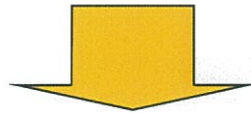
本センターは、国内初めての臨床検査における教育・研究支援事業と
検体検査事業を併せて行う産学連携拠点。

運営は、



●筑波大学附属病院と三菱化学メディエンス株式会社との協同・連携のもと、合わせて臨床検査技師会、地域関連団体の協力を得てサービスを提供しています。

●教育・研究支援事業を担当する「NPO法人つくば臨床検査教育・研究センター(TMER)」と事業拠点であるラボを運営し、検査センター機能を担当する「つくばi-Laboratory有限事業組合(TiLL)」の2つの組織が運営しております。



●臨床検査教育支援事業

市民公開講演会、検査室マネジメント研修会、血液学研修会
大学等への出前講義、医療機関等への出前講演会など

●臨床検査技師生涯教育事業

新人研修、外国人招請研修事業、学会等への参加支援など

●研究支援事業

- ・共同研究の推進
(筑波大学附属病院入院患者様からの残検体を利用した共同研究)
- ・研究奨励助成金・研究支援助成金事業

●検体検査事業

特徴

- ・筑波大学附属病院の検体検査を支える検査機能を保持
- ・大学病院品質の迅速検査サービスの提供
- ・免疫血清検査の充実など、多様な検査項目の実施
- ・形態学検査などをはじめとする臨床コンサルテーション

サービス

- ・臨床検査の標準化推進活動

平成24年度、外国人招請研修事業



第2回外国人招請研修事業が開催されました。

平成24年11月12日(月)～18日(日)の一週間、本センターにおいて第2回外国人招請研修事業が、筑波大学附属病院・国際臨床検査技師会(IFBLS)との3機関共催で行われました。

本年は、カナダからMs.Victoria Cheさん、スリランカからMs.Nirmani.V.Wanniarachchiさんのお二人をお招きしました。甲状腺機能検査、腫瘍マーカーを中心とした講義・実習が行われ有意義な1週間となりました。

開校式では、鈴木理事長、五十嵐病院長、小松IFBLS会長の挨拶に続き、研修生の紹介がありました。引き続き開催された「筑波大学附属病院とi-Laboratory合同研修会」では、千葉大学・野村文夫教授による「腫瘍マーカー検査・肝癌がんを中心に」の講演が行われ42名が参加されました。



筑波大学附属病院・i-Laboratory合同研修会

平成24年8月に、ドイツで行われた国際臨床検査技師会総会に鈴木理事長が参加されました。

学会式典において、TMER鈴木理事長から、事業活動報告及び平成24年11月開催、外国人招請研修事業の研修生2名の発表が行われた。



TMER	国際臨床検査技師会	日本臨床検査技師会
鈴木理事長	Vincent Gallicchio会長	宮島会長

ICT健康サポート事業(つくば市)への協力！！

ICT健康サポート事業は、つくば市、筑波大学、フィットネス施設及びIT企業が連携して平成24年度新規に開始した事業です。

ICT(情報通信技術)を活用して、歩数や血圧などの健康情報をトラッキングするサービスとフィットネス施設における週1回の運動教室を組み合わせ、健康データの管理と運動を連携させ、市民の主体的な健康に対する意識の醸成及び行動変容を生み出すことを目的としております。

つくば臨床検査教育・研究センターでは、このICT健康サポート事業に、施設の貸し出し、採血や採尿、臨床検査で協力しています。



【ICT健康サポート事業説明会の様子】

平成24年8月に約150名の参加者がi-Labに集まり、説明会の受講、採血、採尿、対組成の測定等を実施しました。運動教室は2月に終了し、3月にi-Labにて再度、採血等を行って効果を判定します。



寄稿 i-Labでの検査は・・・

健康診断や病気の治療方法の選択・予後の推定では欠かせない臨床検査について、一般の皆様はどれだけ理解されているでしょうか。一般の健康診断や成人病検診では必ず血液検査が行われています。

今年1年はシリーズとして血液検査について紹介します。

○ 血液検査でわかること III 痛風

痛風は体内で作られた尿酸が増加すると起こる病気で、激しい痛みを特徴とします。尿酸は尿から排泄されますが、体内の尿酸が増加すると排出が追いつかなくなり、足の親指関節などに蓄積され炎症を起こします。尿酸値が高くなる原因は①遺伝的要因②食生活(偏った食事、飲酒、食べ過ぎなど)③一時的な脱水状態の継続(激しい運動、下痢など)が考えられます。

痛風

尿酸値 7.0mg/dl以上



- ・第1期(前段階)：尿酸値7.0mg/dl以上。自覚症状は出ないが、合併症が徐々に進行しています。
- ・第2期(痛風発作期)：関節に突然の激しい痛みを伴う痛風発作を起こす。
- ・第3期(慢性期)：痛風発作の回数が多くなります。合併症の悪化により死に至る場合もあります。

謹賀新年・・・今年もよろしくお祈りします。

・Innovation 新機軸で・・・Intelligence 知性を・・・Information 情報を・・・



1月9日、吉原MCM代表取締役社長が、来所されました。
前列。清水i-Lab代表執行役、吉原社長、鈴木TMER理事長

時の人

昭和53年1月に、筑波大学附属病院検査部に採用されてから36年間。診断や治療に役立てるための検査をする臨床検査技師として活躍された飯塚儀明事業検査部長が、筑波大学を定年退職されます。

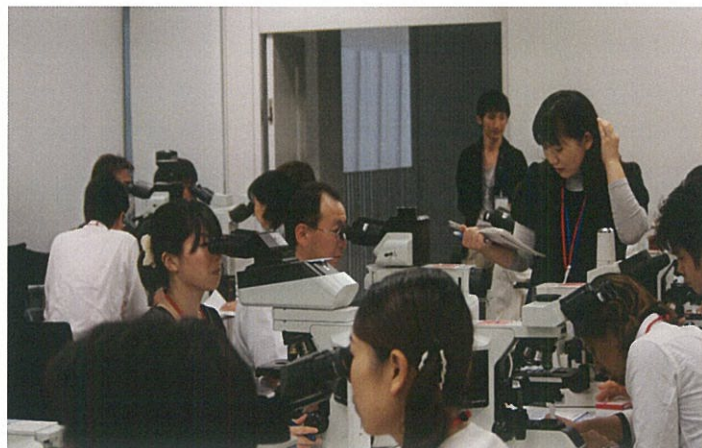


平成23年1月の本センターの設立、i-Lab検査事業の稼働に伴い、最先端の装置、臨床検査技師の卒後教育体制、他施設からの検体受け入れ体制など大変なご努力と部下の教育に尽力いただきました。

これまで臨床検査関係学会から、学術論文賞、最優秀演題賞など、文部科学省からは医学教育等関係業務功労者表彰。茨城県知事表彰など受賞されました。

顕微鏡を覗いてみませんか。

- 本センターでは、臨床検査教育支援事業として毎年、「血液学研修会」や「血液凝固検査のレベルアップ研修会」など顕微鏡を使った実習研修を開催しています。
- 来年度の研修スケジュールはTMERホームページで、お知らせします。



〒305-0005

茨城県つくば市天久保2 -1-17

つくば臨床検査教育研究センター

NPO法人 つくば臨床検査教育・研究センター 事務局

電話：029-850-1050

FAX：029-856-5226

eメール：tmer.jimukyoku@estate.ocn.ne.jp

ホームページ：<http://www.tmer.or.jp/>



つくばi-Laboratory有限責任事業組合 事業企画部

電話：029-850-1320

FAX：029-856-5226

eメール：mail@tsukuba-i-lab.com

ホームページ：<http://www.tsukuba-i-lab.com/>

アクセス

